宮城県摂食障害支援拠点病院の設置主体変更について

宮城県摂食障害支援拠点病院は、2015 年に東北大学病院心療内科内に設置されて以来、摂食障害に関する専門的な相談支援拠点として、患者さん・ご家族の皆さまをはじめ、医療関係者、学校関係者、職場関係者の皆さまからの相談に対応してまいりました。
また、医療・教育関係者を対象とした研修会の開催、市民公開講座による普及啓発活動、家族教室の開催などを通じて、宮城県における摂食障害診療ならびに支援体制の充実に取り組んでまいりました。
このたび、東北大学病院心療内科の閉科に伴い、宮城県摂食障害支援拠点病院の設置主体を変更することとなりました。

- 2026 年 9 月 30 日まで:東北大学病院心療内科
- 2026 年 10 月 1 日から:東北大学病院精神科

今後は東北大学病院精神科において、これまでの活動を継承しながら、宮城県摂食障害支援拠点病院としての機能をさらに充実・発展させてまいります。
特に、

- 宮城県内の摂食障害診療に携わる医療機関との連携強化
- 医療・保健・福祉・教育分野の専門職を対象とした研修の充実

に重点的に取り組み、地域における支援体制のさらなる向上を目指してまいります。
引き続き、患者さん・ご家族の皆さま、関係機関の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2026 年 10 月 1 日

宮城県摂食障害支援拠点病院長
東北大学病院精神科教授
富田　博秋